

AXIS S3008 Recorder

ユーザーマニュアル

AXIS S3008 Recorder

ブラウザーサポート

ブラウザーサポート

以下のブラウザーでデバイスを使用できます。

Windows®

- Chrome™ (推奨)
- Firefox®
- Edge®

OS X®

- Chrome™ (推奨)
- Safari®

その他

- Chrome™
- Firefox®

デバイスの使用方法の詳細については、Axisのホームページ www.axis.com でユーザーズマニュアルを参照してください。
推奨されるブラウザーの詳しい情報については、www.axis.com/browser-support にアクセスしてください。

AXIS S3008 Recorder

設定

設定

トップメニュー



言語を変更するのに使用します。



ディスプレイをライトテーマやダークテーマに変更するのに使用します。



ログインしているユーザーやユーザーの権限を表示するのに使用します。



以下については、こちらをクリックしてください。

- ・ **詳細情報:** 本製品およびメーカーについての情報です。
- ・ **フィードバック:** エクスペリエンスを共有するために使用します。

重要

ご質問がある場合やアクシス製品のサポートが必要な場合は、にお問い合わせください。

- ・ **法的情報:** Cookieおよびライセンスについての情報です。
- ・ **ヘルプ:** リンクを使用すると、製品のインターフェースに関する最新のヘルプにアクセスできます (インターネット接続が必要です)。

サイドメニュー



サイドメニューを開いたり閉じたりするのに使用します。

AXIS S3008 Recorder

レコーダーステータス

レコーダーステータス

このセクションは、システムの概要を示します。

ステータス

Allocated PoE (割り当てられたPoE): 現在割り当てられているワット数 (W) を表示します。

Total PoE consumption (合計PoE消費電力): 消費されるワット数 (W) を表示します。

Keep PoE active during recorder restart (レコーダーの再起動中もPoEを常にアクティブにする): 製品の再起動中に電源を入れたままにするにはこれを有効にします。これを有効にできない場合、製品の再起動中にPoEにより接続されたデバイスに電力が供給されません。

Used space (使用中容量): 使用されるスペースの割合を表示します。

Free space (空き容量): 録画に使用できる容量の割合を表示します。

Disk status (ディスクステータス): ディスクの現在のステータスを表示します。

Disk temperature (ディスク温度): 現在の動作温度です。

Free space (空き容量): 使用可能なディスク容量です。ディスク容量はMB (メガバイト)、GB (ギガバイト)、TB (テラバイト) で表示されます。

Ports (ポート)

各ポートには、個別の番号と設定情報が含まれます。

PoE: 各ポートのPoEを有効または無効にします。デバイスを接続すると、以下の情報が表示されます。

Allocated power (割り当てられた電力): 現在割り当てられているワット数 (W) を表示します。

Mac: 接続されたデバイスのMedia Access Controlアドレス (MACアドレス) です。

AXIS S3008 Recorder

アプリ

アプリ



アプリケーションについて

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティがAxis製品向けの分析およびその他のアプリケーションを開発できるようにするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、ライセンスの詳細については、www.axis.com/applicationsを参照してください。

アプリケーションは製品管理者がアップロードできます。

AXIS Camera Managementバージョン3.10以降を使用すると、アプリケーションとライセンスを複数の製品に同時にインストールすることができます。

注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行できますが、互いに互換性がないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。展開する前に、各アプリケーションを組み合わせせて実行できることを確認してください。
- アプリケーションをアップグレードすると、ライセンスを含むアプリケーションの設定は削除されます。ライセンスを再インストールし、アプリケーションを再設定する必要があります。

製品にインストール済みのアプリケーションの一覧については、**アプリ**を参照してください。

アプリケーションの概要

コントロール

- Status (状態)**
 - Running (実行中):** アプリケーションは起動され、実行中です。
 - Idle (待機中):** アプリケーションは起動されていますが、アプリケーションのイベントトリガーが設定されていません。待機中の状態があるかどうかはインストールされているアプリケーションの種類によって異なり、すべてのアプリケーションで使用されるわけではありません。詳細については、特定のアプリケーションのマニュアルを参照してください。
 - 停止:** アプリケーションは実行されていません。
- 開始と停止:** アプリケーションを起動または停止します。
- Delete (削除):** アプリを削除すると、アプリは製品から完全に削除されます。
- Application log (アプリケーションログ):** アプリケーションログには、アプリケーションイベントが発生したことのログが記録されます。このログは、アプリケーションパッケージのベンダーからサポートを受ける際に役立ちます。

Activate the license (ライセンスのアクティブ化): アクティブ化されたライセンスがないと、製品はアプリケーションを実行できません。ライセンスをアクティブ化するには、ライセンスキーが必要です。

ファイルを参照し、**[Activate] (アクティブ化)** を選択します。

ライセンスキーがコンピューターに保存されていない場合は、www.axis.com/applicationsへ移動します。ライセンスキーを入手するには、ライセンスコードとAxis製品のシリアル番号が必要です。ライセンスファイルをコンピューターに保存します。

AXIS S3008 Recorder

アプリ

Deactivate the license (ライセンスの非アクティブ化): ライセンスを別の製品で使用する場合は、ライセンスを非アクティブ化できます。つまり、ライセンスを非アクティブ化すると、ライセンスは製品から削除されます。

Settings (設定): アプリケーションを設定するには、[Open (開く)] をクリックします。利用可能な設定は、アプリケーションのタイプによって異なります。すべてのアプリケーションで使用できるわけではありません。個別のアプリケーションのマニュアルを参照してください。

AXIS S3008 Recorder

システム

システム

日付と時刻

現在のデバイスの日付と時刻が表示されます。



使用するタイムゾーンを選択します。これにより、夏時間の調整が自動的に行われます (適用される地域での夏時間と冬時間の交替)。

設定は自動的に取得するか、**同期**の方法を選択して手動で設定することもできます。

- **Automatic date and time (NTP server using DHCP) (日付と時刻の自動設定 (DHCPを使用したNTPサーバー))**
- **Automatic date and time (manual NTP server) (日付と時刻の自動設定 (手動NTPサーバー))**
 - **プライマリとセカンダリNTPサーバーの設定:** プライマリとセカンダリNTPサーバーの両方を使用すると、本製品は両方のNTPサーバーと同期し、その入力に基づいて時間を調整します。つまり、セカンダリNTPサーバーは、プライマリNTPサーバーが使用できない場合だけでなく常に使用されます。
- **Custom date and time (日付と時刻のカスタム設定):** 日付と時刻を手動で設定するか、**[Get from system (システムから取得)]** を使用してシステムの日付と時刻から単一の更新を取得できます。

注意

日付と時刻の設定は、すべての録画、ログ、システム設定で使用されます。

ネットワーク

使用するインターネットプロトコルを選択します。現在、IPには IP version 4 (IPv4) と IP version 6 (IPv6) の2つのバージョンがあります。最も一般的に使用されているのはIPv4アドレスです。

IPv4

- **自動IP (DHCP) とDNS (DHCP):** デフォルトで使用されます。ほとんどのネットワークで推奨される設定です。
- **自動IP (DHCP) と手動DNS:** ネットワーク管理者に連絡して手動で設定します。
- **Manual IP (DHCP) (手動IP (DHCP)) とDNS:** ネットワーク管理者に連絡して手動で設定します。

Automatic IP (DHCP) (自動IP (DHCP)) とDNS (DHCP): 現在の設定が一覧表示されます。これらはすべて自動的に更新されます。

Automatic IP (DHCP) (自動IP (DHCP)) と manual DNS (手動DNS): 現在の設定が一覧表示されます。手動で以下の項目を設定できます。

- **ホスト名:** 完全修飾ホスト名ではなく、短い形式のホスト名が使用される場合は、製品で使用されるホスト名の検出先のドメイン名を入力します。
- **検索ドメイン:** 完全修飾ホスト名ではなく、短い形式のホスト名が使用される場合は、製品で使用されるホスト名の検出先のドメイン名を入力します。

検索ドメインをさらに追加するには、



[Add search domain (検索ドメインを追加)] を使用します。

- **DNSサーバー:** プライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。このサーバーは、ホスト名からローカルネットワーク上のIPアドレスへの変換を行います。



DNSサーバーをさらに追加するには、**[Add DNS server (DNSサーバーを追加)]** を使用します。
手動IPと手動DNS: ネットワーク管理者に連絡して手動で設定します。

- **IPアドレス:** 製品の固有のIPアドレスを指定します。孤立したネットワークの内部であれば、アドレスの重複がないことを条件に、静的なIPアドレスを自由に割り当てることができます。

AXIS S3008 Recorder

システム

アドレスの重複を避けるため、静的なIPアドレスを割り当てる前に、ネットワーク管理者に確認することを推奨します。

- **サブネットマスク:** 製品が配置されているサブネットのマスクを調整します。
- **ルーター:** さまざまなネットワークやネットワークセグメントに接続された装置を接続するために使用するデフォルトルーター (ゲートウェイ) のIPアドレスを指定します。
- **ホスト名:** 完全修飾ホスト名ではなく、短い形式のホスト名が使用される場合は、製品で使用されるホスト名の検出先のドメイン名を入力します。
- **検索ドメイン:** 完全修飾ホスト名ではなく、短い形式のホスト名が使用される場合は、製品で使用されるホスト名の検出先のドメイン名を入力します。

検索ドメインをさらに追加するには、**+** [Add search domain (検索ドメインを追加)] を使用します。

- **DNSサーバー:** プライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。
このサーバーは、ホスト名からローカルネットワーク上のIPアドレスへの変換を行います。

DNSサーバーをさらに追加するには、**+** [Add DNS server (DNSサーバーを追加)] を使用します。

IPv6

デフォルトでは、[自動割り当て (DHCP)] が使用されます。

HTTPとHTTPS

次によってアクセスを許可

ユーザーに [HTTP]、[HTTPS]、または両方でのデバイスへの接続を許可するかを選択します。

HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over Secure Socket Layer、またはHTTP over SSL) は、Webプロトコルの1つです。HTTPSでは、ユーザーからのページ要求とWebサーバーから返されるページが暗号化されます。サーバーの真正性 (サーバーが本物であることを保証するHTTPS証明書が使用されます)。

HTTPSで使用されるSSL (Secure Socket Layer) では、40ビット長の鍵を使用して暗号化が行われます。これは、ほとんどの商用レベルの情報のやり取りにおいて十分な強度の暗号化と言えます。

本製品でHTTPSを使用するには、HTTPS証明書をインストールする必要があります。[システム > セキュリティ] に移動し、証明書の作成とインストールを行います。

注意

- HTTPSは、すべてのビデオ管理ソフトウェアでサポートされているわけではありません。
- HTTPSによって暗号化されたWebページを表示すると、特に初めてページを要求するときには多少長い時間がかかります。

Friendly name (フレンドリ名)

Bonjour®を使用: ネットワーク上で自動検出を可能にします。

- **Bonjour名:** ネットワークで表示されるフレンドリ名を入力します。デフォルト名はアクシスの製品名とMACアドレスです。

UPnP®を使用: ネットワーク上で自動検出を可能にします。

- **UPnP名:** ネットワークで表示されるフレンドリ名を入力します。デフォルト名はアクシスの製品名とMACアドレスです。

AXIS S3008 Recorder

システム

One-Click Cloud Connect (O3C) をO3Cサービスと共に使用すると、インターネットを介して、ライブビデオや録画ビデオにどこからでも簡単かつ安全にアクセスできます。

[O3C] を許可

- **One-click (ワンクリック)**: デフォルトで有効です。コントロールボタンを押し続けて、インターネットを介してO3Cサービスに接続します。登録後は、[Always (常時)] が有効になり、本製品はO3Cサービスに接続し続けます。コントロールボタンを押してから24時間以内に本製品を登録しなかった場合、O3Cサービスとの接続が切断されます。
- **Always (常時)**: 本製品は、インターネットを介してO3Cサービスへの接続を継続的に試行します。登録後、本製品はO3Cサービスに接続し続けます。コントロールボタンに手が届かない場合は、このオプションを使用します。
- **No (なし)**: O3Cサービスを無効にするには、このオプションを選択します。

プロキシの設定

- **ホスト**: 必要な場合は、HTTPサーバーに接続するためのプロキシ設定とポート番号を入力します
 - **ポート**: アクセスに使用するポート番号を入力します。
- **ログインとパスワード**: 必要な場合は、プロキシサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
- **[Authentication method] (認証方式)**
 - **[Basic] (ベーシック)**: ベーシック認証方式は、ほとんどのHTTP認証方式に対応します。ただし、ユーザー名とパスワードを暗号化せずにサーバーに送信するため、セキュリティレベルは低くなります。
 - **[Digest] (ダイジェスト)**: ダイジェスト認証方式は、常に暗号化されたネットワークを通じてパスワードを送信するため、**ベーシック**より高いセキュリティレベルが得られます。
 - **[オート]**: このオプションでは、サポートされる認証方式に応じて本製品が自動的に認証方式を選択します。**ダイジェスト**方式が**ベーシック**方式より優先されます。

接続されたクライアント: このセクションを展開して、現在の設定を表示します。

リストを更新するには、[Update (更新)] ボタンを使用します。

セキュリティ

証明書

証明書は、ネットワーク上のデバイスの認証に使用されます。本製品では、次の2種類の証明書を使用できます。**クライアント証明書**および**CA証明書**。

Client Certificates (クライアント証明書)

クライアント証明書はAxis製品を識別します。自己署名証明書と認証局 (CA) 発行の証明書のどちらでも使用できます。自己署名証明書による保護は限られていますが、認証局発行の証明書を取得するまで利用できます。

フィルターオプションを開いて、リスト内の特定のクライアント証明書を検索するには、 を使用します。

自己署名証明書を追加するには、 [Add certificate (証明書の追加)] ボタンを使用します。これで、[Create a self-signed certificate and certificate signing request (自己署名証明書と証明書署名要求の作成)] を選択できます。必要な情報を入力し、[保存] をクリックします。

処理が完了すると、PEM形式の署名要求が表示されます。それをコピーし、目的の認証局 (CA) に送信することができます。

または、 をクリックし、[アップロード] を選択してCAが署名済みの証明書をインストールできます。署名方法の種類を選択し、必要な情報が含まれるファイルも選択します。

AXIS S3008 Recorder

システム

インストール済みのクライアント証明書のプロパティを表示するには、その証明書を選択し、 をクリックします。

証明書を削除するには、その証明書を選択し、 をクリックします。

CA Certificates (CA証明書)

CA証明書はピア証明書の認証に使用されます。たとえば、本製品をIEEE 802.1Xで保護されたネットワークに接続するときに、認証サーバーの身元を検証するために使用されます。本製品には、いくつかのCA証明書がプリ

インストールされています。追加の証明書をインストールするには、 をクリックします。

インストール済み証明書の情報を表示するには、証明書を選択し、 をクリックします。

証明書を削除するには、その証明書を選択し、 をクリックします。

注意

製品が工場出荷時の値にリセットされると、すべての証明書が削除されますが、プリインストールされたCA証明書は再インストールされます。

以下の形式がサポートされています。

- 証明書形式: .PEM、.CER、.PFX
- 秘密鍵形式: PKCS#1、PKCS#12

カスタム署名されたファームウェア証明書

カスタム署名されたファームウェア証明書

アップグレードする前に、カスタム署名されたファームウェア証明書をインストールおよび選択してください。

アクシスの署名付きファームウェア

アクシスの署名付きファームウェアは、業界で広く受け入れられているRSA公開鍵暗号化方式をベースにしています。秘密鍵はアクシスで厳重に守られている場所に保管され、公開鍵はアクシス製品に埋め込まれています。ファームウェアイメージ全体の完全性は、イメージコンテンツの署名によって保証されています。プライマリ署名は多くのセカンダリ署名を検証し、検証されるのと同時にイメージが展開されます。

セキュアブートとカスタムファームウェア証明書

セキュアブートは製品をより安全にする一方で、異なるファームウェアとの柔軟性を低下させるため、アクシスのテストファームウェアやその他のカスタムファームウェアなどの一時的なファームウェアを製品にロードするのがより複雑になります。ただし、アクシスは、個々のユニットを承認してそのような非運用ファームウェアを受け入れる方法を採用しています。このファームウェアは、異なる方法で、オーナーとアクシスの両方の承認により署名されるため、カスタムファームウェア証明書となっています。承認されたユニットにインストールされると、証明書は一意のシリアル番号とチップIDに基づいて、承認されたユニットでのみ実行可能なカスタムファームウェアの使用を有効にします。アクシスが署名を行う鍵を保有しているため、カスタムファームウェア証明書はアクシスのみが作成できます。

AXIS S3008 Recorder

システム

ユーザー

すべてのユーザーは管理者です。

Viewers (閲覧者): 閲覧者にアクセス権があるのは、ライブビューのみです。

Operators (オペレーター): 次の操作を除く、すべての設定へのアクセス権があります。

- ・ アプリケーションと言語ファイルのアップロード
- ・ [System (システム)] に含まれるすべての設定。

Administrators (管理者): 管理者はすべての設定に無制限にアクセスでき、他のユーザーの作成、編集、削除を行えます。

ユーザーの作成方法

- ・ 新しいユーザーを追加するには、 [Add user (ユーザーを追加)] ボタンを使用します。

ユーザー名: 一意のユーザー名を入力します。

新しいパスワード: ユーザーのパスワードを入力します。

パスワードは1~64文字で、印刷可能なASCII文字(コード32~126)のみを使用できます。これには、英数字、句読点、および一部の記号が含まれます。

パスワードの再入力: 同じパスワードを再び入力します。

Role: リストからユーザータイプを選択します。

注記

ユーザーの数は最大で100です。

ストレージ

オンボードストレージ

オンボードストレージとは、ビデオが製品に直接録画および保存されることを意味します。

ストレージデバイスの情報が表示されます。

ストレージを安全に取り出す: オンボードストレージデバイスを安全に取り外すには、[Unmount (アンマウント)]を使用します。

警告

ストレージの取り出しは、必ずストレージをアンマウントし、電源をオフにしてから行ってください。そうしないと録画が失われることがあります。

- ・ **書き込み禁止:** このオプションにチェックマークを入れると、SDカードへの書き込みが防止され、録画が削除されなくなります。ロックされたストレージユニットをフォーマットすることはできません。
- ・ **新しいストレージデバイスをext4にフォーマットする:** 通常、SDカードはvFATファイルシステムでフォーマット済みです。
[Format new storage devices to ext4 (新しいストレージデバイスをext4にフォーマットする)]を選択すると、現在のファイルシステムがチェックされ、必要な場合はストレージデバイスがext4ファイルシステムにフォーマットされます。
より信頼できるファイルシステムであるext4の使用をお勧めします。
- ・ **保存期間:** このオプションは、ストレージデバイスの空き容量がなくなるのを避けるために古い録画の量を制限したいときや、データ保管に関する規制を順守する必要があるときに利用できま

AXIS S3008 Recorder

システム

す。古い録画の保存期間を入力します。ストレージデバイスの空き容量がなくなった場合、古い録画はすぐに削除されます。

ツール: アクションを選択し、クリックして実行します。

- ・ **チェック:** SDカードのエラーをチェックします。これは、ext4ファイルシステムの場合にのみ機能します。
- ・ **修復:** ext4ファイルシステムのエラーを修復します。vFAT形式でフォーマットされたSDカードを修復するには、SDカードを取り出して、コンピューターに挿入し、ディスクの修復を実行します。
- ・ **フォーマット (全て消す):** ファイルシステムを変更したり、すべてのデータを素早く消去したりする必要があるときは、ストレージデバイスをフォーマットします。使用可能なファイルシステムオプションは、vFATとext4の2つです。カードの排出や突然の停電によるデータ損失に対する回復力があるため、ext4でのフォーマットをお勧めします。ただし、Windowsからファイルシステムにアクセスするには、サードパーティ製のext4ドライバーまたはアプリケーションが必要です。ほとんどのデバイスは、vFATでフォーマットされた状態で販売されています。
- ・ **暗号化:** 保存されているデータを暗号化します。
- ・ **復号化:** 保存されているデータを復号化します。
- ・ **パスフレーズ:** 暗号化と復号化にはパスフレーズが必要です。

注意

すべてのツールがすべてのファイル形式に対応しているわけではありません。

メンテナンス

Restart (再起動): 製品がうまく動作しない場合に製品を再起動します。再起動しても、現在の設定には影響がありません。

注意

- ・ 実行中のアプリケーションは自動的に再起動されます。

Restore (リストア): 製品をリストアすると、ほとんどの設定が工場出荷時の値に戻されます。そのため、製品を再設定し、アプリケーション (ACAP) を再インストールし、イベントタイプやPTZプリセットを再作成する必要があります。

注記

アップロードされたアプリケーションは変更されませんが、再起動する必要があります。

以下の設定はそのまま保存されます。

- ・ ブートプロトコル (DHCPまたは静的)
- ・ 静的IPアドレス
- ・ デフォルトルーター
- ・ サブネットマスク
- ・ 802.1Xの設定
- ・ O3Cの設定

Factory default (工場出荷時の設定): デフォルトへのリセットを行うと、すべての設定が工場出荷時の値に戻されます。そのため、製品にアクセスできるようにするには、IPアドレスをリセットする必要があります。

- ・ ケース上のコントロールボタンを使用して、デフォルトにリセットすることもできます。

Firmware upgrade (ファームウェアのアップグレード): 製品の新しいファームウェアが随時リリースされます。これらの新しいリリースには、機能の改善やバグの修正、まったく新しい機能が含まれています。常に最新のファームウェアを使用することをお勧めします。最新のファームウェアは、Axisのサポートホームページ www.axis.com/support から入手できます。

- ・ 検証済みのファームウェアのみを製品にインストールできるように、現在、すべてのAxis製品のファームウェアはデジタル署名されています。これによって、Axis製品の全体的なサイバーセキュリティの最低レベルがさらに上がります。詳細については、www.axis.comにあるホワイトペーパーを参照してください。

AXIS S3008 Recorder

システム

- Axis製品のファームウェアは、バージョン8.30.1以降がデジタル署名されています。下位互換性のために、バージョン9.20.1のリリースまでは**署名なし**のファームウェアも受け入れられます。9.20.1にアップデートした後は、署名付きのファームウェアが完全にアクティブになり、AXISのデジタル署名付きのファームウェアだけが受け入れられます。つまり、8.30.1よりも前のファームウェアバージョンにダウングレードすることはできなくなります。この件に関する詳細情報およびサポートについては、www.axis.com/supportでアクシスヘルプデスクにお問い合わせください。

Firmware recovery (ファームウェアのリカバリ): この機能を使用して、以前にインストールされたファームウェアのバージョンに戻します。

Reports (レポート)

デバイスサーバーレポートを表示: この設定を使用して、本製品のステータスに関する情報をポップアップ表示します。アクセスログは自動的にサーバーレポートに含まれます。

デバイスサーバーレポートをダウンロード: この設定を使用して、サーバーレポートをダウンロードします。サーバーレポートをダウンロードすると、UTF-8形式で作成された完全なサーバーレポートのテキストファイルと、現在のライブビュー画像のスナップショットを収めた.zipファイルが生成されます。アクシスのサポートに連絡する際は、必ずサーバーレポートの.zipファイルを添えて、お問い合わせください。

クラッシュレポートをダウンロード: この設定を使用して、サーバーの状態に関する詳細情報が付随したアーカイブをダウンロードします。クラッシュレポートには、サーバーレポートに記載されている情報と詳細なバグ情報が含まれます。レポートには、ネットワークトレースなどの機密情報が含まれている場合があります。レポートの生成には数分かかることがあります。

Logs (ログ)

システムログを表示: この設定を使用して、製品の起動、警告、重大メッセージなど、システムイベントに関する情報を表示します。

アクセスログを表示: この設定を使用して、誤ったログインパスワードの使用など、本製品への失敗したアクセスをすべて表示します。

Analytics data (分析データ)

アクシスは製品を継続的に更新および改良しており、匿名のブラウザーデータを収集することは、この点で当社にとって非常に大きな価値があります。個人データは収集されません。

Network trace (ネットワークトレース)

ネットワークトレースファイルは、デバイスまたはネットワークに問題があるときのトラブルシューティングに役立ちます。サポートに問い合わせる際は、常にネットワークトレースのコピーを含めるようにしてください。

追跡時間: トレースがデータを収集する期間を選択します。トレースにはトラブルシューティングに必要なものを含める時間が含まれている必要があります。

SSHサーバー

[Secure Shell (SSH)] を有効にすると、ユーザーは安全にログオンして、ネットワーク経由でシェルやネットワークサービスを実行できます。

